

# 令和5年度円山小学校学力・学習状況調査結果の分析

R5.10

## 1. 学習状況調査結果

### 児童質問紙

(肯定的な回答をした児童)

#### 「良好」であること

##### ○友達関係に満足し、学校に行くのが楽しい児童が多い。

- ・「友達関係に満足している。」 (円山小 92.8% 県 92.5% 全国 90.3%)
- ・「学校に行くのは楽しい。」 (円山小 94% 県 87.8% 全国 85.3%)

##### ○課題解決に向けて意欲的に取り組み、考えを深めたり、広げたりしている児童が多い。

- ・「5年生までに受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいる。」 (円山小 86.7% 県 81.8% 全国 78.8%)
- ・「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができている。」 (円山小 87.9% 県 85.5% 全国 81.8%)
- ・「学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができている。」 (円山小 88% 県 84.1% 全国 77.4%)

##### ○地域とつながり、行事に参加している児童が多い。

- ・「今すんでいる地域の行事に参加している。」 (円山小 80.8% 県 74.8% 全国 57.8%)
- ・「地域や社会をよくするために何をすべきか考えることがある。」 (円山小 90.4% 県 81.6% 全国 76.8%)

#### 「課題」であること

##### ●自ら課題を見付け、その解決のために自主的に学習に取り組む児童が少ない。

- ・「5年生までに受けた授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表していた。」 (円山小 57.8% 県 64.8% 全国 63.7%)
- ・「家で自分で計画を立てて勉強をしている。(学校の授業の予習や復習を含む)」 (円山小 75.9% 県 70% 全国 70.7%)
- ・「学校の授業時間以外に、普段(月曜日から金曜日)、1日10分以上読書をしている。(電子書籍の読書も含む。教科書や参考書、漫画や雑誌は除く)」 (円山小 56.8% 県 57.7% 全国 60.1%)



#### 「今後取り入れていくとよいこと」

- ・児童自身で課題を設定し、取り組む機会を増やしていく。
- ・語彙力や文章力を高めるために読書や音読の時間を大切にする。また、自分の考えを分かりやすく表現する力をつけるために話し合いや伝え合いの時間をしっかり設けるようにする。

## 2. 学力調査結果

### 国語

平均正答率・・・円山小学校 71%、 県平均 71%、 全国平均 67.2%

### 算数

平均正答率・・・円山小学校 67%、 県平均 66%、 全国平均 62.5%

### 国語「良好」であること

- 【川村さんの文章】の下線部イを、送り仮名に気を付けて書き直したものとして適切なものを選択する  
(くらべて)  三(2)イ (円山小 **96.4%**、県 95.3%、全国 93.1%)
- 【川村さんの文章】の特徴の説明として適切なものを選択する  四  
(円山小 **83.3%**、県 81.9%、全国 79.8%)
- 【相田さんのメモ】の空欄に当てはまる内容として適切なものを選択する  二  
(円山小 **76.2%**、県 70.6%、全国 67.4%)

### 算数「良好」であること

- 伴って変わる二つの数量が比例の関係にあることを用いて、知りたい数量の大きさの求め方と答えを式や言葉を用いて記述できるかどうかをみる 1(3)  
(円山小 **63.1%**、県 61.7%、全国 55.5%)
- 加法と乗法の混合した整数の計算をしたり、分配法則を用いたりすることができるかどうかをみる 3(3)  
(円山小 **83.3%**、県 81.3%、全国 72.4%)

## 国語「課題」であること

- 「書くこと」【川村さんの文章】の空欄に学校の米作りの問題点と解決方法を書く $\boxed{1}$ 二  
(円山小 31.0%、県 32.7%、全国 26.7%)
- 「読むこと」【資料1】と【資料2】に書かれている内容として適切なものを選択する $\boxed{2}$ 一  
(円山小 88.1%、県 92.3%、全国 90.0%)
- 「話すこと・聞くこと」寺田さんと山本さんが、どのような思いでボランティアを続けているのかについて、分かったことをまとめて書く $\boxed{3}$ 二  
(円山小 69.0%、県 76.5%、全国 70.2%)

### 「今後取り入れていくとよいこと」

記述式の問題の正答率が低い。(無回答率が高い)日頃の国語の授業で、書く活動を積極的に取り入れる。

## 算数「課題」であること

- 正方形の意味や性質について理解しているかどうかをみる2(2)(3)  
2 (円山小 84.5%、県 89%、全国 87.2%)  
3 (円山小 31%、県 23.7%、全国 24.9%)
- 高さが等しい三角形について、底辺と面積の関係を基に面積の大きさを判断し、その理由を言葉や数を用いて記述できるかどうかをみる (記述式) 2(4) (円山小 26.2%、県 19%、全国 20.8%)
- 百分率で表された割合について理解しているかどうかをみる 4(1)  
(円山小 44%、県 45.4%、全国 46.0%)
- 示された棒グラフと、複数の棒グラフを組み合わせたグラフを読み、見いだした違いを言葉と数を用いて記述できるかどうかをみる 4(3)  
(円山小 66.7%、県 63.7%、全国 56.2%)  
無回答 (円山小 6%、県 9%、全国 13.8%)

### 「今後取り入れていくとよいこと」

- ・ 操作活動を充実させる。
- ・ 図形にかんする多面的な視点の習得を目指す。
- ・ 日常生活の具体例を用いながら、割合を求める経験を増やす。
- ・ 全体での課題解決後に「自分でできた、できるようになった。(自分で解けた。自分で説明できた。)」を実感できる機会＝セカンドチャンス授業中に設定する。